

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	・スタッフ全員で意見を出し合い、ユニットごとにまとめ3ユニットの内容を検討し、事業所として理念を作りました		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	・職員採用時や、日々のミーティングで伝え理解してもらえるようにしています ・具体的ケアについても話し合いをして意見を統一しています		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	・利用者の入居時には家族に説明し理解してもらっています ・地域の方には運営推進会議、ゆうゆう便りで理解してもらおうように努めています		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	・町内会に加入しています ・町会の行事(お祭り、盆踊り、花火大会、公園清掃)に参加しています ・町会向けにゆうゆう便りを発行し理解してもらおうようにしています ・散歩中など積極的に挨拶しています		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	・町内会に加入し総会に出席しています ・行事等で地域との接点を持つ取り組みをしています(お祭り、公園清掃等) ・ボランティアの受入(詩吟、草刈り、子供たちの慰問) ・ゆうゆう便りを発行 ・防災訓練への町会の参加		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	・運営推進会議の際には、地域の方たちにも参加して頂き情報収集と必要な情報を提供しています ・見学等を積極的に受け入れ相談にも応じています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に意見箱を設置しています</li> <li>・苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員会を設けています</li> <li>・苦情・意見があった場合、速やかに職員全員の周知を行い検討し、改善に向けています</li> </ul>		玄関に意見箱を設置しているが、家族から直接話を引き出せるように今以上のコミュニケーションをとっていきます
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月 月次報告書、ゆうゆう通信にて報告しています</li> <li>・健康状態に変化のあるときには、その都度連絡しています</li> <li>・面会時には近況報告しています</li> <li>・家族からの金銭預かり時は預かり証にサインを頂いています</li> <li>・毎月買い物レシート、病院領収証と出納帳のコピーを家族に送付しています</li> </ul>		職員の異動の際には、通信にて家族へ連絡していく方向で考えています
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に意見箱を設置しています</li> <li>・家族会で意見を出せる仕組みを作っています</li> <li>・家族の訪問時の要望・意見等はミーティングで反映させています</li> <li>・契約時 苦情等の受付窓口の説明をしています</li> <li>・運営推進会議を2ヶ月に1回実施しています</li> </ul>		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員からの意見等は、その都度管理者及び施設長へ伝えていきます</li> <li>・リーダー会議、ユニット会議、勉強会での意見交換を反映させていきます</li> </ul>		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて職員人数を増員しています(行動・緊急時等)</li> <li>・採用の際に、施設長から話があります</li> <li>・行事の計画の際に話し合っ調整しています</li> </ul>		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての職員が全ての利用者の名前と顔を覚えて、利用者のなじみとなるようにしています</li> <li>・異動の際には、利用者の個別ケアに注意し、少しずつ関わるようにしています</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・本人の状況を確認し、必要なサービスにつなげられるよう努めています		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・本人・家族に見学に来ていただき、徐々に慣れるよう対応しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・生活歴から本人の性格などを把握し、グループホームでの暮らしの中で役割を持ち、力を発揮できるように声かけや一緒に行動しています		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・家族と情報を共有し、本人が自分らしく生活できるよう協力しながら支援しています		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・定期的な連絡や面談、通信、月次報告書の発行 ・行事・催し物へのお誘いを行い、本人と家族の共有時間がもてるように努めています ・遠方の家族とは電話で連絡を密にし、疎遠にならないよう努めています		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・面会・外出・外泊は自由に行なっています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・家事等を通して出来ない方への気配りや支えあいをしています ・コミュニケーションをとりにくい方には、スタッフが間に入り関わりを持てるようにしています		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・入院などで退去しても、家族からの相談に応じ必要な情報を提供しています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・生活シート・フェイスシートなどからその人の生活歴を知り、日々のかかわりの中で 言動・行動・表情などから希望や意向を引き出し把握できるように努めています		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・家族関係者から入居前の情報を頂き、日々の会話の中から生活史、環境を把握し プランに組み入れ暮らしの継続に努めています		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・生活のリズム、心身の状態をアセスメントし総合的に把握できるよう、スタッフは情報を共有しています ・本人・家族の声を反映しています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・本人、家族、介護員それぞれに声をかけ快適に暮らしていけるように必要な支援策を考え作成しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・状態に変化が生じたときは、速やかに家族、スタッフと情報交換し介護計画書の内容を見直しています		
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	・介護記録は24時間の生活リズムや気づいたことなどを、ケアプランにそって記入するよう心がけています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・本人・家族から要望があった場合は、上司へ報告し対応できる体制をとって支援しています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・運営推進会議には町内会長、民生委員、町会役員などに参加してもらっています ・詩吟ボランティアの受け入れ ・消防・町会と連携した防災訓練の実施をしています		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・本人・家族からの相談はありません(実費のため)		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・現在該当する方はいません ・必要に応じて協働していく準備はあります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居前のかかりつけ医からの情報収集を行い、本人・家族の希望により継続して医療を受けられるよう対応しています</li> <li>受診の際には、都度本人・家族の希望により受診を決めています</li> <li>家族が立ち会えない場合、職員が付き添い家族へ報告しています</li> </ul>		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門医のいる協力医療機関と連携しています</li> <li>家族からの相談があった場合、主治医から必要に応じ専門医療へ紹介します</li> </ul>		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職員を確保しています</li> <li>顔なじみの看護職員が健康相談に同行してくれるので、とても大きな支えになっています</li> <li>母体の病院から週3回訪問看護に来て、健康管理を行なっています</li> </ul>		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院の際には介護添書を記入し、同じようなケアを継続して受けられるよう努めています</li> <li>回復状況を観察し、退院後の生活がスムーズに行なえるよう情報収集に努めています</li> </ul>		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居時に本人・家族から終末期について要望・希望を確認し覚書を交わしています</li> <li>事業所として出来るケアの内容を覚書で説明しています</li> <li>主治医とも連携し考えられる治療方針など説明しています</li> </ul>		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族との連携を密にし、主治医の指示のもと本人・家族の希望に沿えるよう配慮しています</li> <li>支援内容についてはチームで話し合い、できる最大のケアを提供できるように努めています</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	・十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐようにしています		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	・個別ケアに配慮し、特に排泄に関することや混乱を招くような声かけに注意しています ・プライバシー保護を徹底しています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	・個々の能力に合わせて選択できるように配慮しています ・表現がうまく出来ない人はサインや行動、表情を見逃さないよう対応しています		
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・体調を考慮し自室で休んだり、リビングで過ごしたりと、個別に時間の流れを作れるようにしています ・ひとり一人の生活パターンを把握し、希望に沿えるようにしています		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	・衣類など自己選択できる人は、自分で選んで着ています ・自己選択が難しい場合はスタッフが提供したものから選んでもらったり、スタッフが選びます ・行きつけの美容室がある方は、定期的に行っています		
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	・認知症が重症化したことで調理等は簡単な作業で出来ることをしてもらおうようにしています ・自分で食べることが出来ない方は介助して食べてもらっています ・ひとり一人に合わせた好みと形態で提供しています ・畑で収穫した野菜を皆で味わい、毎年楽しみにしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつ・飲み物はひとり一人の状況に合わせて提供しています</li> <li>・お酒を望むときには夕食時に提供しています</li> <li>・タバコを吸う人はいないが希望があれば可能です</li> </ul>		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に排尿パターンを把握し、時間ごとの声かけとトイレ誘導をしています</li> <li>・トイレ誘導し、気持ちよく排泄することで失禁回数を減らせるようにしています</li> </ul>		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子の人には安心して入浴できるよう、スタッフ2人で対応しています</li> <li>・入浴を拒む人には、毎日声をかけて時間や職員を変えてみる等の対応をしています</li> </ul>		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のペースに任せていますが、意思疎通の困難な方には時間を見て臥床できるようにしています</li> <li>・日中体を動かすことで、夜間ぐっすり眠れるように支援しています</li> </ul>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の得意分野を把握し、出来ることを継続して出来るよう支援しています</li> <li>・散歩・日光浴・ドライブ・買い物や季節の行事を楽しんでいます</li> </ul>		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物を希望するときには職員が同行し、楽しんで買い物できるように支援しています</li> <li>・希望により預かり金の中から買い物をしています</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・自分ひとりで外出出来ない方は、日光浴・散歩・買い物に誘っています ・ドライブや花見に出かけています		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・水族館・ぶどう狩りに出かけています ・車椅子使用している入居者さんが多い時にはボランティアの人々も参加する時があり、皆で楽しめるよう行事を企画しています		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	・公衆電話を設置しています ・希望に応じて対応しています		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・面会時間は自由でいつでも気軽に訪問してもらっています ・面会の際は居室・リビングなど自由な場所で過ごしてもらっています ・気軽に訪問していただけるようスタッフ側から声かけしています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・積極的に取り組み「身体拘束廃止委員会」を設けています ・入居者の行動を常に見守っています		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・勉強会・ミーティング等で拘束について話し合う場を設け、身体拘束・言葉による拘束などについて十分理解するようにしています ・日中は玄関およびユニット間は自由に行き来できるように鍵はかけていません		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がどこで過ごしているのか目配りし、声をかけあいながら見守っています</li> <li>・居室・トイレ・風呂場などではプライバシーに配慮し、安全におこなわれるよう支援しています</li> </ul>		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刃物は鍵をかけて保管しています</li> <li>・洗剤等は鍵のかかる物品庫に保管しています</li> <li>・薬は鍵のかかる物品庫に保管しています</li> </ul>		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に防止できるような対策や実際の対応方法を勉強会・ミーティングでシミュレーションしています</li> <li>・転倒・窒息・誤薬等の事故を起こさぬように職員一丸となって取り組んでいます</li> </ul>		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急処置のマニュアルを作成しています</li> <li>・マニュアルがあってもとっさの時に対応できなくては困るので、申し送りのときなどにシミュレーション体験・訓練しています</li> </ul>		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練(日中想定・夜間想定)しています</li> <li>・入居者、町会の方にも参加してもらい実施しています</li> <li>・非常口・消火器の位置、火災通報装置の操作手順やマニュアル等作成しシミュレーションしています</li> <li>・消火器や避難経路の定期点検しています</li> </ul>		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と常にコミュニケーションをとり、状態に応じた起こりうるリスクについて都度説明し話し合っています</li> <li>・本人と家族の思いを大切に、主治医の助言のもと、ケア内容やリスクについて話し合っています</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の様子について細かく観察、記録するようにしています</li> <li>・本人・家族、スタッフ、医師、看護師などで情報を共有し、即対応できるよう連絡を密にしています</li> </ul>		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が服用している薬の一覧を作成し、内容が確認できるようにしています</li> <li>・誤薬防止のため係を決め、名前、日付を読み上げ、確認を徹底しています</li> <li>・特変時は速やかに医師に連絡し指示をもらっています</li> </ul>		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排便チェック表を作成し毎日確認をしています</li> <li>・便秘になる原因を考え、水分量、食材の工夫、運動、マッサージ等を行なっています</li> </ul>		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後 全員の口腔ケアを行なっています</li> <li>・歯肉に炎症があるときはマッサージをするなどして見守りしています</li> <li>・協力歯科医の口腔衛生指導を受けています</li> <li>・就寝時は義歯を預かり洗浄剤消毒をしています</li> <li>・うがいや義歯洗浄(歯肉を含む)が自分できない入居者には介助して行っています</li> <li>・むせ込みがある入居者にはブラッシング、ガーゼでの拭き取りをおこなっています</li> </ul>		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事量・水分量は記録しスタッフ全員で共有しています</li> <li>・個々に適した形態で提供しています(ミキサー食、刻み食、とろみ剤使用等)</li> <li>・栄養不足になりがちの方には栄養補助食品を提供しています</li> </ul>		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成しています</li> <li>・インフルエンザ予防接種を毎年行なっています(入居者、スタッフ)</li> <li>・ノロウイルス予防のため、食器の煮沸消毒・手洗い・うがいを徹底、手すりや便座の消毒等も徹底しておこなっています</li> <li>・体調不良の職員がいる場合、状態に応じて受診し休んでもらいます</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具の塩素系漂白剤での漂白(毎日)</li> <li>台布巾、食器用布巾も枚数多く確保し漂白剤で消毒</li> <li>食材は週3日の買出しと毎日の配達で使い切ることで、新鮮な物を使います</li> </ul>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関前は段差なく歩行、車椅子共に出入りがスムーズです</li> <li>玄関前にベンチを置き、憩いの場となっています</li> </ul>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気・室温に気配りしています</li> <li>雛人形・五月人形などを飾り季節感を感じられるよう工夫しています</li> <li>廊下・トイレは車椅子でも無理せず動くことが出来ます</li> </ul>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全員食事する際の席に着き、気の合う人と会話を楽しんでいます</li> <li>安心して休める場としてリビングのソファで休まれる方もいます</li> </ul>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が使っていた馴染みの家具などを持ち込んでいます</li> <li>危険がない限り、本人の好きなように配置し自由に心地よく過ごせるようにしています</li> </ul>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度計をチェックし暖房調節、換気をこまめに行い、過ごしやすいように気をつけています</li> <li>ロスナイを使用しています</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない	利用者の話に耳を傾け、今出来る事やしたい事を少しでも多く活動できるようにスタッフと話し合い、毎日の暮らしが生き生きと楽しく生活できるように意見・提案している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	お茶の時間には一緒に話しをしたり、散歩やドライブに出かけゆっくりと接しています
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	意思疎通のできない入居者もありますが、体調を見て離床時間や食事介助の際にかかる時間も変えています
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	できることを自身を持ってやることで、自分の居場所や役割・楽しみを見つけることで元気な様子が見受けられます
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	希望により、また働きかけにより買い物・ドライブに出かけています 意思疎通の不可の方は日光浴等を実施しています
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	月2～4回の健康相談の実施 母体である医療法人との迅速な連携しています
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	自立を促しながら他者との協力、また互いに刺激しあうことで信頼関係、馴染みの関係が確立 手を出しすぎず、時には同等の立場で接し、自分を感じてもらうことを大切にしています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない	面会、電話、通信などで情報共有を密にし、家族からは温かい言葉やクレーム、相談など様々な言葉を頂いている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	家族の面会は多く、ほぼ毎日のように来る方もいます 毎週詩吟ボランティア 地域の子供たちの訪問

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	町内関係者、民生委員、家族、包括の方々が集まる機会が増えている 地域行事への参加やボランティア、近所の方からの寄贈品もあります
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	ストレスや悩みを抱えている職員もいますが、皆と話し合ったり上司と面談を行い、早期に解決できるようにしています 入居者への対応が行き詰った時には、皆で解決できるように対応しています
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	職員の地道な働きかけ、チームワークで自発的な言葉が増え元気に過ごしている方が多い 食事の様々な工夫で健康状態、身体能力が改善されています
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	コミュニケーションを積極的にすすめていくことで信頼関係も深まったと考える ケアの充実には家族との関係が重要なので面会が多いのも成果と考える

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

3ユニットということもあり、グループホーム全体で行事する事があるため、他ユニットの入居者・スタッフが顔をあわせたり、挨拶を交わしたりと、小さな町内会のような雰囲気です。グループホーム全体で27名の入居者さんを見守っています